

法人理念	～すべての子どもに灯を～														
支援方針	ともしびの家の「ともしび」とは、子どもたちの持つ「可能性」を指します。子どもたちが内なる可能性を輝かせ、将来社会に出た時にもたくさんの人に囲まれ、自分らしくたくましく、そして幸せに生きていけるように。そんな願いを込めて成長のサポートをしていく、第2のお家です。														
営業時間	<table border="1"> <tr> <td>児童発達支援</td> <td>通常</td> <td>14:00-17:00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長期休暇時</td> <td>10:00-16:00</td> </tr> <tr> <td>放課後等デイサービス</td> <td>通常</td> <td>14:00-18:00</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長期休暇時</td> <td>9:00-17:00</td> </tr> </table>	児童発達支援	通常	14:00-17:00		長期休暇時	10:00-16:00	放課後等デイサービス	通常	14:00-18:00		長期休暇時	9:00-17:00	送迎業務の有無	あり
児童発達支援	通常	14:00-17:00													
	長期休暇時	10:00-16:00													
放課後等デイサービス	通常	14:00-18:00													
	長期休暇時	9:00-17:00													

支援のポイントやプログラム内容について	
健康・生活	<p>【心身の健康状態の把握】 身体の健康については、日常の健康観察を徹底して行います。また心の健康についても同じくらい重要と考えています。学校・家族・友達関係のこと。家族や友達には話にくい思春期ならではの悩みも信頼できるスタッフに相談可能です。スタッフと一緒に状況を整理し、解決策の見通しを持つことで、心の安定につなげます。</p> <p>【基本的な生活スキルの獲得】 生活リズムの安定、手順表の掲示、荷物置き場の明確化、整理整頓の支援などにより、特性にかかわらずスムーズに生活を送れるような環境づくりや支援に努めます。</p> <p>【自立支援と日常生活の充実のための活動】 気持ちの良い挨拶、基本的な日常動作などの練習をし、自立しながら自信を持って従事した日常生活を送れるよう支援を行います。</p>
運動・感覚	<p>【姿勢と運動・動作の向上】 押す/引く/叩く/握る/飛ぶ/バランスをとるなど、あらゆる動作に焦点を当てた活動プログラムを用意しています。ゲーム感覚で楽しく体を動かし、粗大運動から微細運動まで、日常生活での動作がより豊かに拡充していけるような運動スキルの習得を支援します。</p> <p>【感覚の特性に応じて】 教室のざわつきが気になる、白地のプリントが読みにくい、長時間じっとしていることが難しい、といった感覚過敏に関連する困りごとについても、「みんな一緒」の方法ではなく「個々の特性」に応じた支援を行っています。また、ご家族様、お子様と一緒に特性について理解しながら、イヤーマフやハイコントラストを活用するといった対処法を身につけるサポートもさせていただきます。</p>
本人支援	<p>【感覚や認知の活用】 五感やバランス感覚を使った遊びなどを通して、認知する楽しさを身につけられるよう支援します。</p> <p>【数量・大小・色などの習得】 マッチングや大小仲間分け、色形クイズなどの活動を通して、分類やカテゴリーを認知できるよう支援します。</p> <p>【認知の備りへの予防・対応】 柔軟な対応・行動力を身につけられるよう、成功体験だけでなく、時には失敗経験を積み、反省や振り返りから次に活かす力をつけられるような活動や環境設定を行います。</p> <p>【行動障がいへの予防・対応】 環境の工夫（具体的な指示/手順書など）を行うことにより、「行動のしづかさ」を軽減できるよう支援します。またお子様自身も、戸外活動によるソーシャルスキルトレーニングや季節の散策などを通して、リラックスしながらも適切な行動について学び習得できるよう支援します。</p>
言語・コミュニケーション	<p>【言語の活用と形成】 絵本や紙芝居の読み聞かせや、質問/クイズの言葉のやり取りを通して、言語に親しんだり、言語から想像する楽しさを身につけられるよう支援します。</p> <p>【受容言語と表出言語の支援】 「伝えたいのになかなか伝わらない」「なんて伝えたいのか分からない」といった、子ども同士で言葉のコミュニケーションをとる際の困りごとに対して、スタッフが気持ちの代弁や個別での対応を行うことにより、円滑で気持ちの良い言葉のやり取りにつながるサポートをし、コミュニケーションの喜びを得られるよう支援します。</p> <p>【読み書きスキルの向上のための支援】 個々の特性や発達段階に応じて、教材等を活用した読み書きの支援を行います。</p> <p>【言語に特性があるお子様への支援】 <構音機能の向上>お口の体操や風船を膨らますなどの活動を通して、お口周りを動かすことの楽しさ・喜びにつながるよう支援します。<コミュニケーション手段の活用>絵カードやタブレットを用いて、お子様が感じていること伝えたいことを表現できるよう支援します。</p>
人間関係・社会性	<p>【アタッチメントの形成】 人との触れ合いや関わりが「嬉しい」「楽しい」と感じられるよう、スキンシップ遊びなどを通して、情緒的な形成を支援します。</p> <p>【ひとり遊びから協同遊びへの支援】 役割のある遊びやルールのある遊びを通して、協同だからこそできる体験の楽しさを感じてもらい、集団意識の形成を支援します。</p> <p>【自己理解とコントロールのための支援】 「自分の主張が通らないのがつらい」などの困り感があるお子様に対しては、集団活動での気持ちのコントロールや、相手に伝える言葉の工夫などについて支援します。</p> <p>【集団参加への支援】 「集団での活動が苦手」といった困り感のあるお子様に対しては、苦手意識の軽減やわかりやすいルールの説明などを通して、集団への参加のハードルが少しでも下がるよう支援します。</p>

家族支援	<p>定期的な面談を実施します。</p> <p>お子様の発達状況や特性の理解に向けた相談援助、子育ての困りごとへの相談援助、子育てや障がいに関する情報の提供、兄弟姉妹に関する相談援助等、あらゆる角度からご家族のサポートをさせていただきます。</p>	移行支援	<p>お子様が、社会に出た時にも自分らしく可能性を発揮できるよう、将来的な意向を見据えた個別目標や支援内容を設定します。</p> <p>必要に応じて、進路先と支援情報の共有もを行い、お子様保護者様とともにスムーズな移行となるようサポートさせていただきます。</p>
地域支援・連携	<p>併用事業所や相談支援事業所、在籍学校と密に連携・調整を行います。</p> <p>また、地域行事や地域住民との交流、防災を含めた地域・関係機関との連携も必要に応じて行います。</p>	職員の質の向上	<p>定期的な社外研修への参加、内部研修の実施により、お子様の支援を行う上で必要なスキルや知識をアップデートしていきます。</p>
行事等	<p>・長期休暇時等支援時間にゆとりがある時には、外出支援も行います。社会資源を活用した社会経験や体験から、室内では得られない学び・発見・成長のサポートを行います。</p> <p>・季節に応じた行事の機会も大切にします。四季の移ろいや文化を取り入れた活動により、豊かな心を育みます。</p>		